



## タツノオトシゴは、何の魚の仲間なの

### タツノオトシゴは、ヨウジウオの仲間

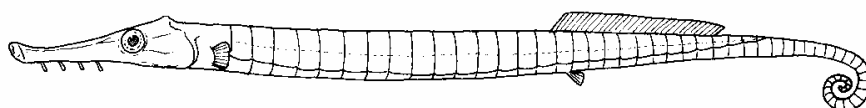
タツノオトシゴは、ちょっと変わった形をしているように見えますが、ヨウジウオという、口が細長くつき出た魚の仲間です。うろこがないかわりに、かたい骨板で体がおおわれています。また、おびれが、何かに巻きつけられる「お」に変わっています。

でも、よく見ると、小さいけれど、胸びれ、腹びれ、背びれなどももっています。

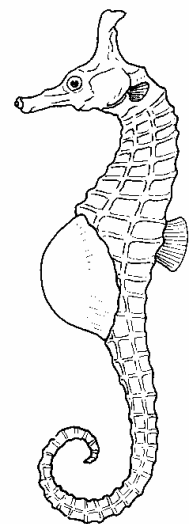
### オスが子どもを産む

タツノオトシゴが、いちばん変わっているのは、おなかの大きいのがメスではなくて、オスだということです。

タツノオトシゴは、オスの腹に育児用のふくろがあり、メスは、この中に卵を生みます。その後、オスが卵を50日間くらいふくろに入れたまま守り、ふ化して9ミリメートルぐらいのち魚になった子どもを、海にはなします。ふつう魚は、卵を生みっぱなしにするので、ほかの魚などに食われてしまうことが多く、一度に大量の卵を生みます。しかし、タツノオトシゴは、オスが卵を守るため、150~200個の卵しか産みません。タツノオトシゴは、海そうのしげった所にすみ、ひれを動かしながら、立ったままの姿勢で泳ぎ、しっぽを海そうに巻きつけて、体を支えています。(監修・安部 義孝)



ヨウジウオ



タツノオトシゴ

